

令和6年度 大阪教育ゆめ基金 関連事業一覧



大阪教育ゆめ基金について

◎大阪教育ゆめ基金について

大阪府では、大阪の子どもたちの「学び」と「はぐくみ」を支えるため、平成20年12月に「大阪教育ゆめ基金」を設置し、子どもたちの学力を向上させる取り組みや、子どもたちの豊かな心をはぐくむための取り組みなどに活用しています。

◎大阪府教育長より

令和7年4月1日時点で、大阪教育ゆめ基金に対して1,499件、787,640,909円のご寄附をいただいております。
大阪府では、多様化する教育課題に的確に対応し、大阪の子どもたちの確かな「学び」と「はぐくみ」を支えたいという思いから、いただいたご寄附を様々な事業に活用してきました。活用事業を通じて大阪府の取り組みを知っていただくとともに、大阪の未来を担う子どもたちへ思いを馳せていただけますと幸いです。



令和6年度ゆめ基金の活用事業について

皆様からいただいたご寄附を様々な事業に活用しました。

- 1.愛さつOSAKA展開事業（「こころの再生」府民運動）
- 2.母校応援ふるさと納税制度推進事業
- 3.英語教育推進事業
- 4.課題を抱える生徒フォローアップ事業
- 5.子ども読書活動環境整備事業
- 6.小中学校における日本語指導推進事業
- 7.職業教育（政策）事業
- 8.スポーツ指導・体力向上支援推進事業
- 9.地域クラブ活動体制整備等事業
- 10.特色づくり推進（政策）事業
- 11.不登校対策等支援事業
- 12.教育機関等指定寄附活用分



1.愛さつOSAKA展開事業（「こころの再生」府民運動）

活用額 225万4千円

「こころの再生」府民運動では「あいさつ」を呼びかけています。

「あいさつ」の大切さを実感してもらうきっかけを作るため、のぼりやビブス等を府立学校や府内の市町村立小中学校・義務教育学校・支援学校に配布しました。

また、学校の優れた取組みを表彰し、その取組みを紹介するデジタルパンフレットやPR動画を作成しました。

「こころの再生」府民運動の趣旨を理解していただき、「あいさつ」を含めた身近な取組みを実践してもらえるよう、普及・啓発を推進します。

詳細は
こちら！



「こころの再生」府民運動 | 大阪府教育委員会



©2014 大阪府もずやん

学校での「あいさつ運動」をサポート



「あいさつOSAKA」ロゴマーク



デジタルパンフレット



PR動画



2. 母校応援ふるさと納税制度推進事業

活用額 32万1千円

寄附を募集している教育機関の取組みが分かりやすいよう、ホームページ整備しました。
また、大阪教育ゆめ基金について広く知っていただくため、パンフレットを作成しました。

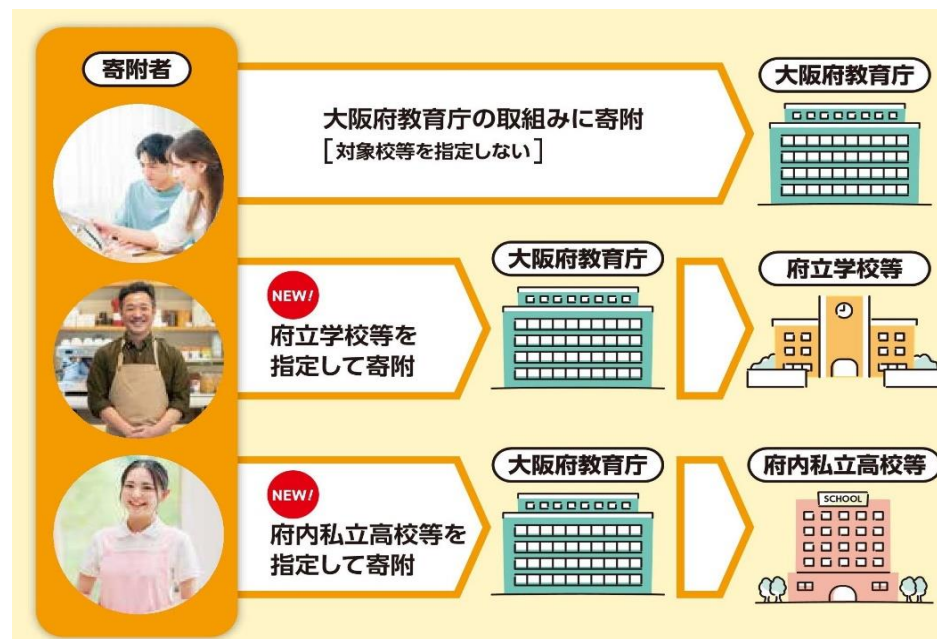
【大阪府母校応援ふるさと納税制度について】

令和6年4月より、従来のおおさか府教育庁に対する寄附に加え、府立学校、私立高校、府立図書館等を指定した寄附も受け入れています。

詳細は
こちら！



HP：大阪教育ゆめ基金 -Osaka Dream Education Fund-



大阪府母校応援ふるさと納税制度について



3.英語教育推進事業

活用額 62万4千円

府立中学校及び府内の市町村立（政令市を除く）の小中学校等に在籍する児童・生徒及び府立高等学校、私立学校等に在籍する生徒が授業で学んだ英語を活用し、ネイティブスピーカーとのコミュニケーション活動を行うことを通して、自らの英語学習への意欲を高めることを目的にイングリッシュキャンプを実施しました。

また、府立学校等に在籍する生徒がSDGsのテーマについて海外の高校生と英語でグループディスカッションを行ったり、海外の大学の教授等から特別講演を聞いたりすることにより、実践的な英語コミュニケーション能力を高めるとともに、グローバルな視点を身につけることを目的として、国際会議を実施しました。



過去のイングリッシュキャンプ実施風景



4.課題を抱える生徒フォローアップ事業

活用額 1,000万円

不登校をはじめとする様々な課題を抱える生徒が在籍する学校や不登校生徒が多数在籍する府立学校において、専門人材等を活用することにより、課題を早期に発見し社会資源へとつなぐ等、「チーム学校」による支援体制の充実を図りました。

○不登校の課題の大きい一部の府立高校に対し、
スクールカウンセラーを週1回程度重点的に配置しました。



○生徒の心の小さなSOSを早期に発見し、
アセスメントに基づく適切な支援につなげました。



令和6年度は全日制11校、定時制10校の計21校を
重点配置の対象校に指定。スクールカウンセラーが
支援した件数の概ね半数が解決・好転しました。



教員へのコンサルテーション及び、ケース会議等へ参加し
チーム学校の支援体制を構築する



5.子ども読書活動整備事業

活用額 142万円

子どもたちが本に親しむきっかけを作るため、作家（オーサー）が学園等を訪問（ビジット）し、子どもたちにワークショップやお話をしていただく、オーサービジット事業を実施しました。

また、読書から遠ざかりがちな中高生が魅力的な本と出会う機会を拡大するため、子どもがゲーム感覚で本を紹介しあうビブリオバトル（書評合戦）を実施しました。

詳細は
こちら！



[大阪府オーサービジット事業／大阪府（おおさかふ）ホームページ \[Osaka Prefectural Government\]](#)

[ビブリオバトル普及事業／大阪府（おおさかふ）ホームページ \[Osaka Prefectural Government\]](#)



R6年度に実施したオーサービジットの様子



R6年度に実施したビブリオバトルの様子



5.子ども読書活動整備事業

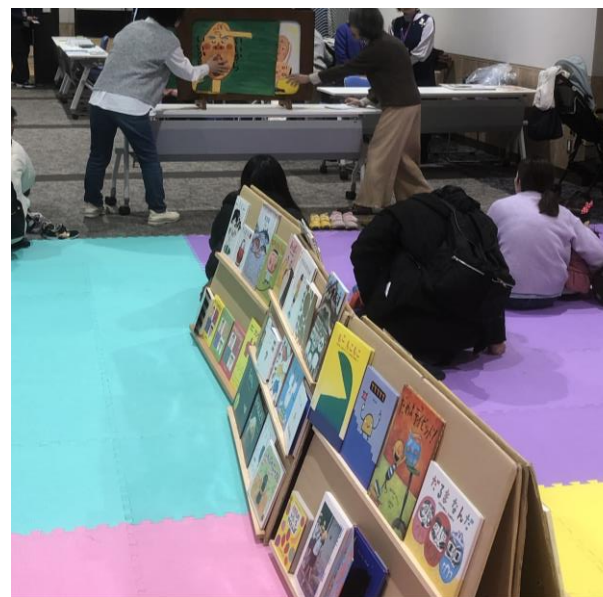
近年、大阪府における在留外国人数及び日本語指導が必要な児童生徒数が増加傾向にあることから、日本語能力の水準に関わりなく、子どもが自由に本を読むことのできる環境を整備することを目的に、就学前の子ども用の外国語絵本を紹介したリーフレットを配布する他、多言語によるえほんのひろばを開催しました。

現行の第4次大阪府子ども読書活動推進計画は令和7年度までであり、令和7年度中に次期計画を策定予定です。読書の魅力、図書館の魅力をより高める取り組みを実施し、その効果検証を踏まえて、より効果的な次期計画を策定します。

詳細は
こちら！



外国語絵本リーフレット



「えほんのひろば」の様子

第4次大阪府子ども読書活動推進計画
(令和3年3月)／大阪府(おおさか
ふ)ホームページ[Osaka Prefectural
Government]



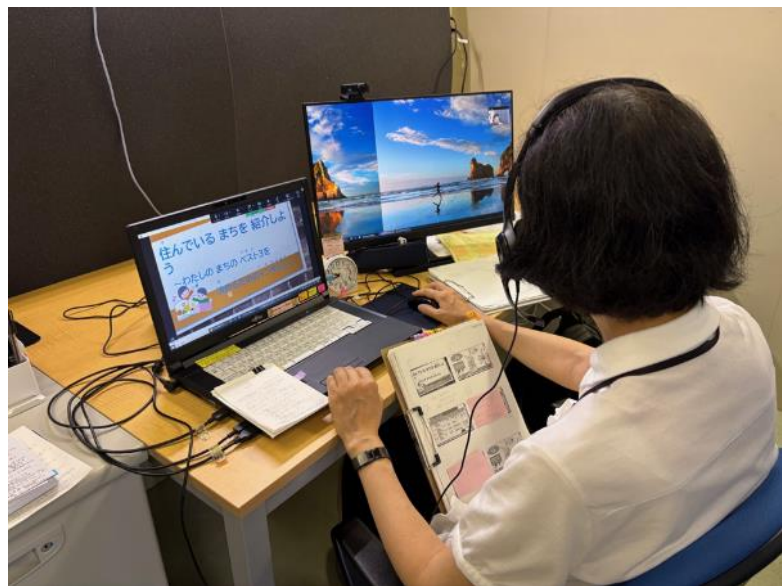
6.小中学校における日本語指導推進事業

活用額 2,417万4千円

府内には日本語指導が必要な児童生徒が少数（1校あたり数人）で在籍する小中学校等が多くあります。そのうち日本語指導が十分に受けられていない児童生徒を対象に、一人一台端末を活用したオンラインによる日本語指導を実施しました。

また、夜間中学の外国籍生徒等へ授業の支援を行う日本語指導支援員や、外国人児童生徒等の学習面・生活面の様々な悩みや相談に対応する支援員を配置する等、日本語指導が必要なすべての児童生徒が安心して学びに向かうことができる学習環境の整備・構築に取り組みました。

詳細は
こちら！



オンライン日本語指導の様子

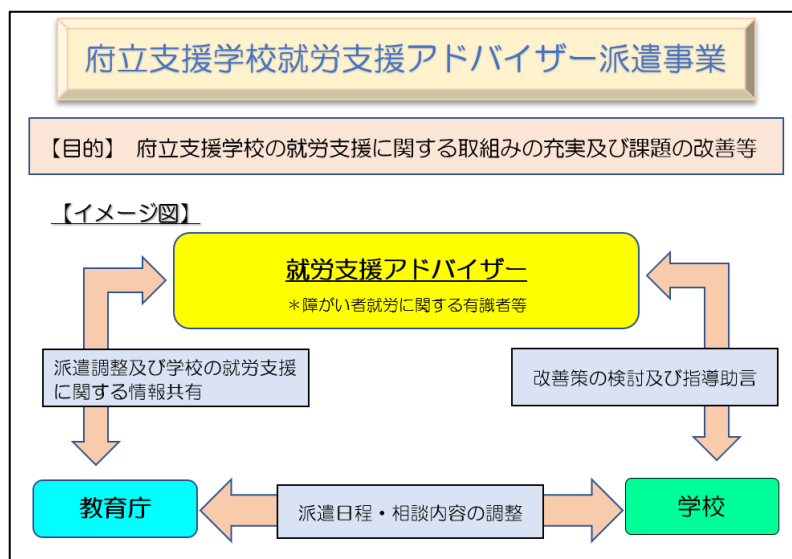


7.職業教育（政策）事業

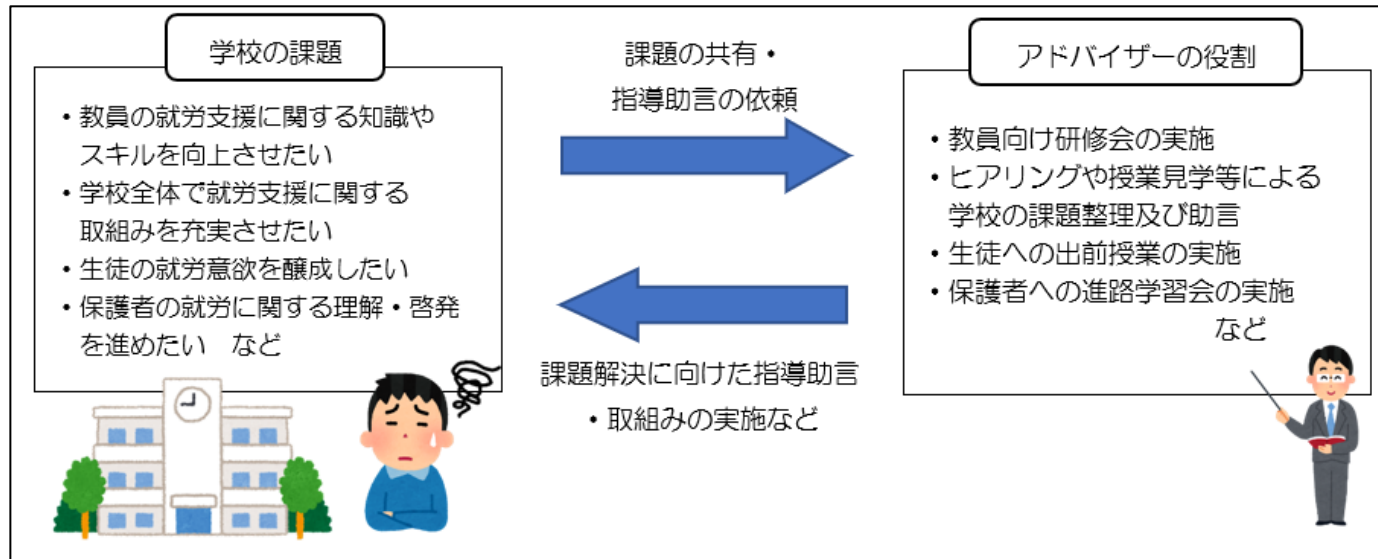
活用額 266万3千円

府立支援学校各校において、生徒の働く意欲をより早期から醸成し、教員の就労支援に係る専門性の一層の向上や、障がい者雇用への保護者の理解啓発を図るため、就労支援アドバイザーの派遣、活用等を行いました。

生徒への出前授業を実施した学校では、生徒から、「卒業後のイメージを持つことができた」「生活習慣がとても大切だと思った」「挨拶を大事にしたいと思った」等、感想があり、生徒の働く意欲の醸成に繋がりました。



就労支援アドバイザー派遣事業の事業フロー図



活用例



8.スポーツ指導・体力向上支援推進事業

活用額 263万4千円

大阪の子どもたち（小学生）の心身の健やかな成長や体力向上、運動習慣の定着を図るため、スポーツ教室やEKIDEN大会の開催、（公社）井村アーティスティックスイミングクラブのコーチを派遣する他、ICTを活用しためっちゃMORIMORIスポーツテストを実施しました。

詳細は
こちら！



めっちゃWAKUWAKUスポーツ
教室、おおさか子どもEKIDEN
についてのURL：

<https://www.pref.osaka.lg.jp/0180070/hokentaiku/kyougisupo-tutop/kodomogenkiappupuro.html>

詳細は
こちら！



めっちゃMORIMORIスポーツ
テストについてのURL：

<https://www.pref.osaka.lg.jp/0180070/hokentaiku/kyougisupo-tutop/r5morimori.html>



めっちゃWAKUWAKUスポーツ教室



おおさか子どもEKIDEN大会



9.地域クラブ活動体制整備等事業

活用額 239万7千円

府内全体の学校部活動の地域移行や地域連携の取組みが円滑に進むよう、学校関係者や保護者、関係団体、有権者で構成される「大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議」を開催し、各方面からの意見をもとに府施策の充実や市町村での取組みの推進を図りました。

詳細は
こちら！



大阪府部活動改革プラットフォーム：
<https://osaka-chiikiclub.asfweb.jp/>



「大阪府における部活動の地域移行に関する検討会議」の様子

大阪府学校部活動・地域クラブ活動指導者人材バンク『ええコーチOSAKA』



大阪府では、学校部活動や地域クラブで子どもたちの指導やサポートをしてくださる人材を募集しています。
あなたの知識や経験を生かして、子どもたちの笑顔輝く場所を一緒につくっていませんか。

検討会議での意見を踏まえ開発した人材バンク



10.特色づくり推進（政策）事業

活用額 340万1千円

車いすを利用して学校生活を送る生徒が安心して学校生活を送れるよう、布施北高等学校に階段昇降機を導入しました。本機器の導入により、これまで利用が困難であった教室を利用できるなど、校内移動に伴う制約が少なくなることから、より幅の広い学びにつなげることができるようになりました。



導入された最新型の階段昇降機



階段昇降機 利用時の様子



校内にある様々な段差



11.不登校対策等支援事業

活用額 6,697万3千円

小中学校における不登校等児童生徒の学校内の居場所として設置した校内教育支援ルームに支援人材を配置し、学校全体の不登校等支援の取組み推進の核となる場所として、ICTの活用を含め個別の状況に応じた学習支援など幅広い支援を実施しました。

また、個別のニーズに応じた支援により、不安の解消や意欲の回復を図り、不登校の予兆への対応も含め児童生徒の社会的自立、学習の保障に向けた支援を行いました。



校内教育支援ルームの様子



ルームで学習アプリを活用している様子



12.教育機関等指定寄附活用分

活用額 3,352万3千円

府立学校等を指定したご寄附を活用し、以下の取組みを実施しました。

○池田高等学校 活用額：110万円
安全で充実した「体力づくり環境」整備事業の実施

○北野高等学校 活用額：2,214万円
部活動を充実させるための備品・設備の整備

○松原高等学校 活用額：98万7千円
セミナー教室整備等の実施

○芦間高等学校 活用額：76万円
配信用機材放送設備の整備

○岸和田高等学校 活用額：196万円
グローバルリーダー育成事業の実施



12.教育機関等指定寄附活用分

府立学校等を指定したご寄附を活用し、以下の取組みを実施しました。

- 柴島高等学校 活用額：89万4千円
総合学科の教育環境整備事業の実施
- 高津高等学校 活用額：463万2千円
グローバル人材、科学技術人材育成事業の実施
- 港南造形高等学校 活用額：97万9千円
造形教育に関する学習環境充実事業の実施
- 堺支援学校 活用額：7万1千円
ピアノの購入

